



彼とのセックス じゃないから じゃ

あたしのココロに
入れて欲しいの…

21

Presented by,

ロジロ

彼とのセックスじゃ
イケないから...
あたしのココに
入れて欲しいの...

誠二さんと
ゆかりさんが
帰ってくる

ついに

誠二さんと
セックスできる…!!

京子ちゃん

考えごと
かい?

今はこつちに
集中してほしいな

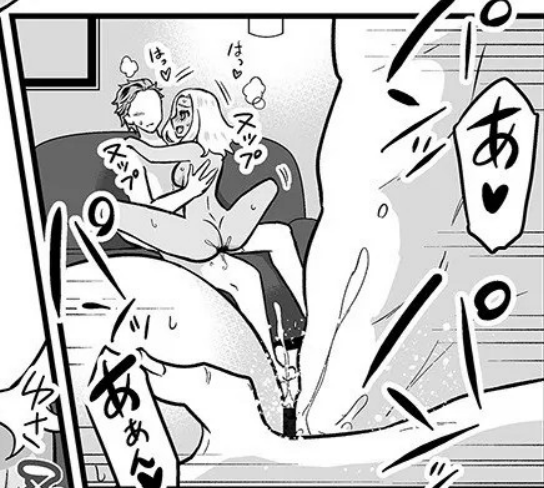
あんっ!?

あ♡

ひあああ♡♡

京子も
慣れてきたじゃん

スワッピング
恋人交換♡



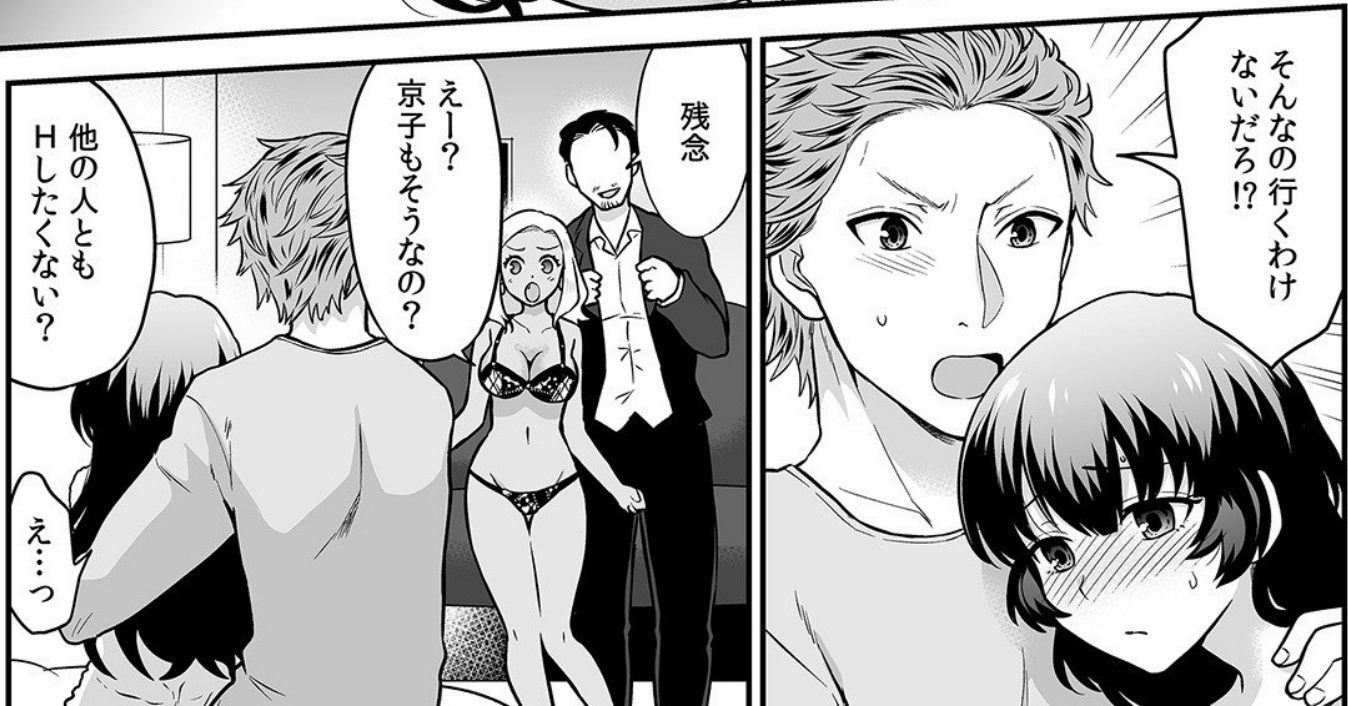


スワッピング
恋人交換するって
こと.....?

たくさんの人と...

それって...
つまり...

ハート♡



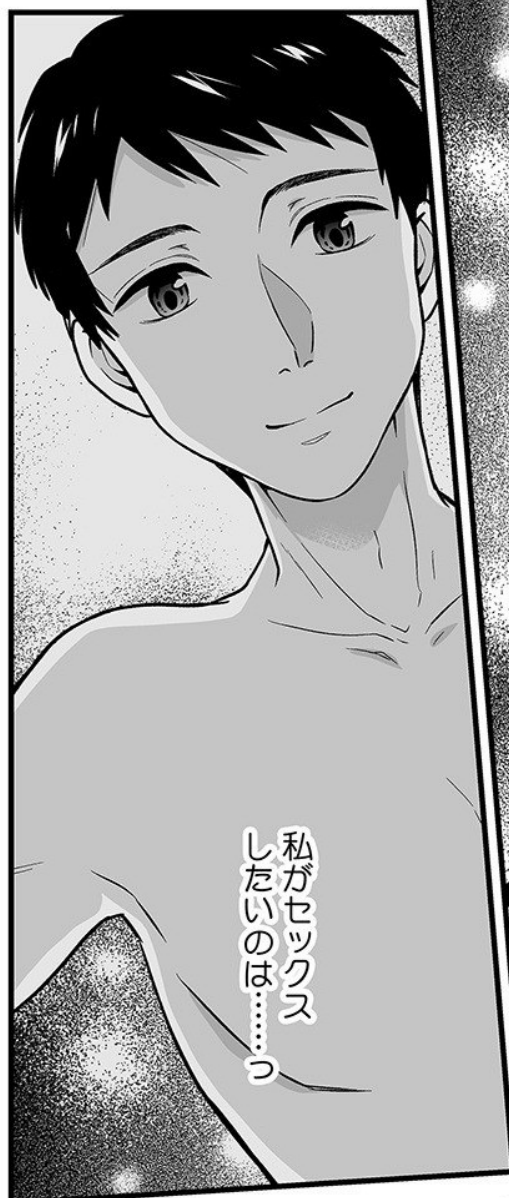
そんなの行くわけ
ないだろ!?

残念

えー?
京子もそうなの?

他の人とも
Hしたくない?

え...っ



私がセックス
したいのは……っ



ほ…
他の人と
なんて……っ

そう

そんなの
したいわけない

だって



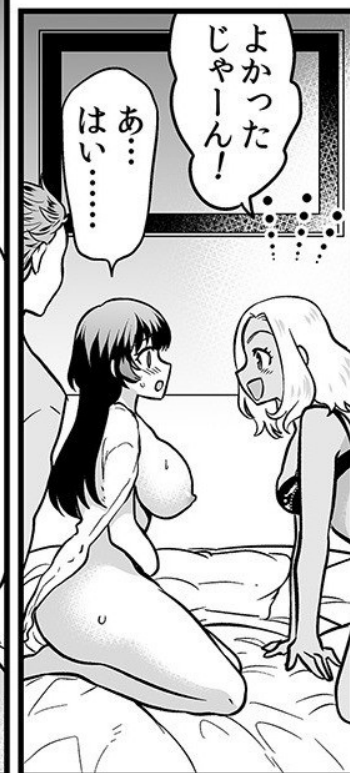
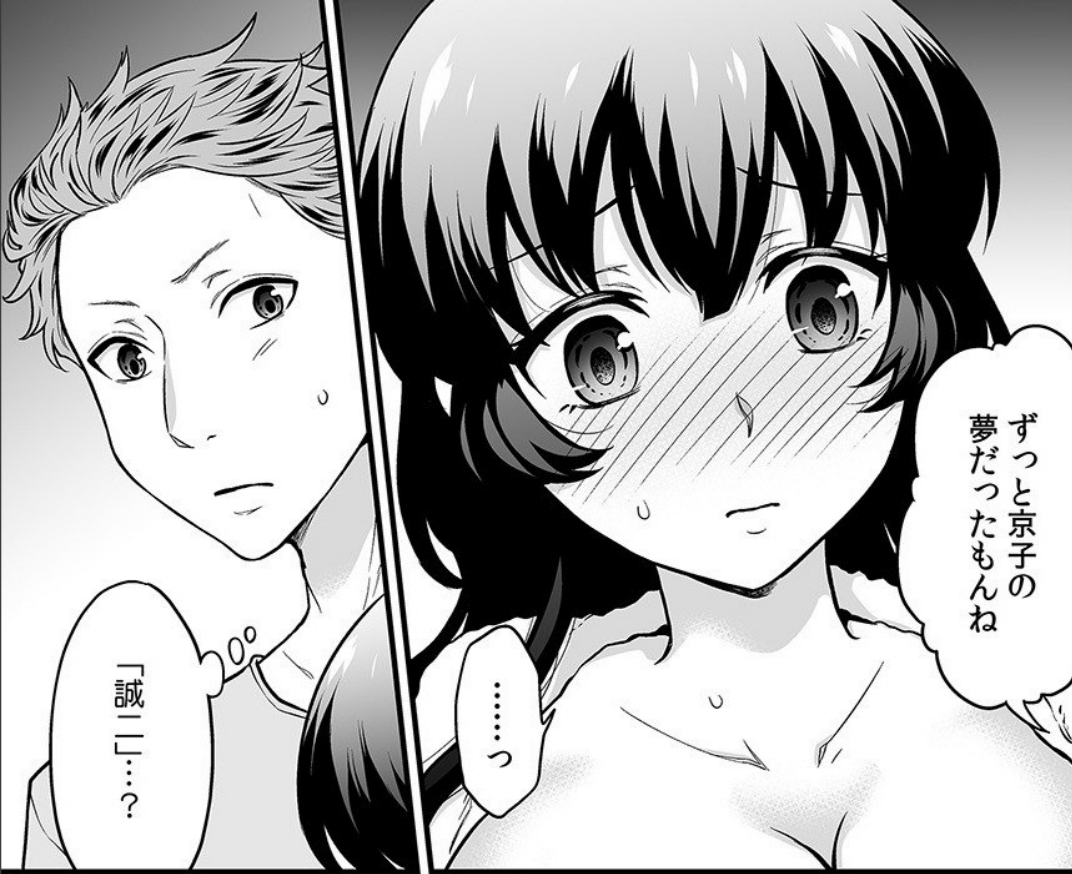
えーっ

誠二さん
帰ってくるんだ!



ポー

それに
その日は…
誠二さん達が
帰ってくるし……



誰って…

京子が好きな
人でしょ？

でももう
結婚してて…

あ

あれ…？

正斗は
知らなかったん
だっけ…？

京子ちゃんの
好きな人…？

「あ」

「好きな相手に
振られたとか？」

……っ
そういう
ことかよ

ままあ
でもっ
正斗が
京子の彼氏なこと
に
変わりないし！

スワッピング
恋人交換なら
浮気じゃないからっ



ずっと続く
この身体の疼きも

きつと収まるのは...



きつと...

もつと...

誠二さんに会える

誠二さんとHできたら
きつと



パーティーは
やっぱり
来ないの？

きつと人気者に
なれるのに



...それは
ちよつと...



やあ
京子ちゃん

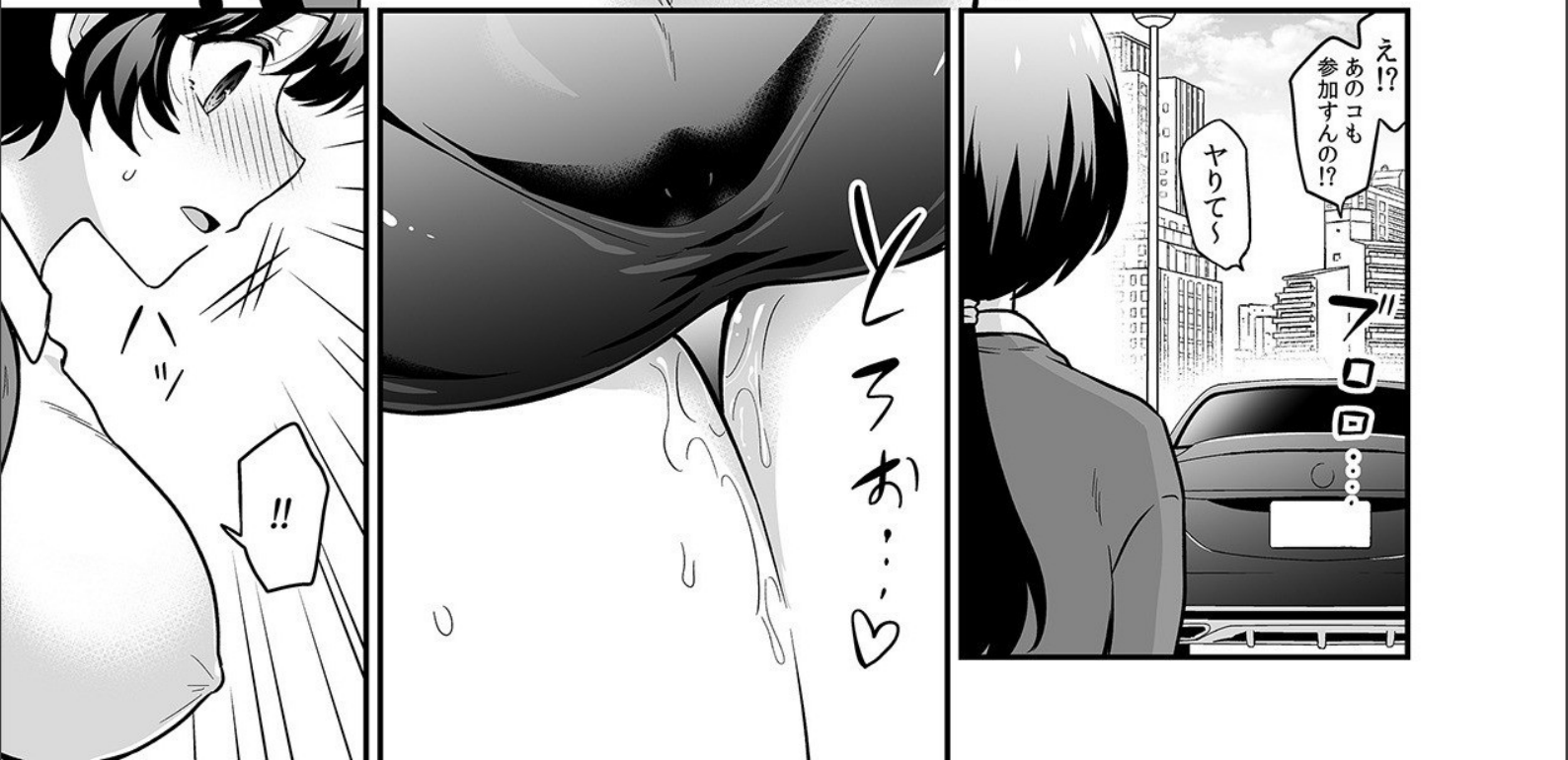
仕事帰りかい

立川さん

あれー？

社長じゃ
ないスか!!



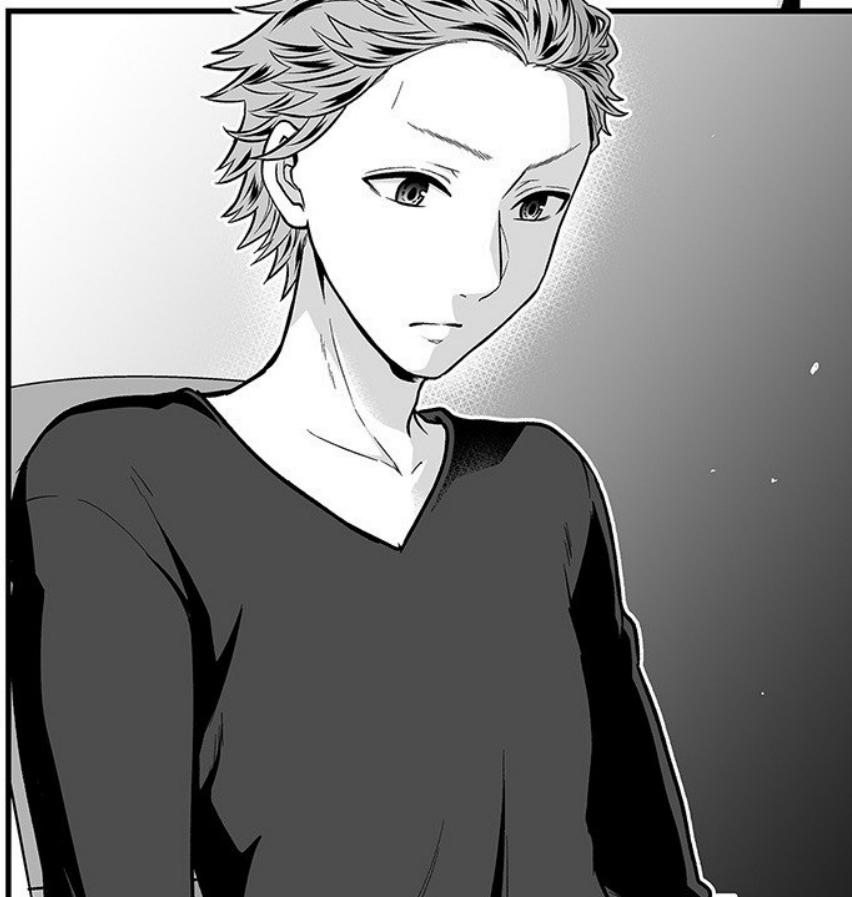


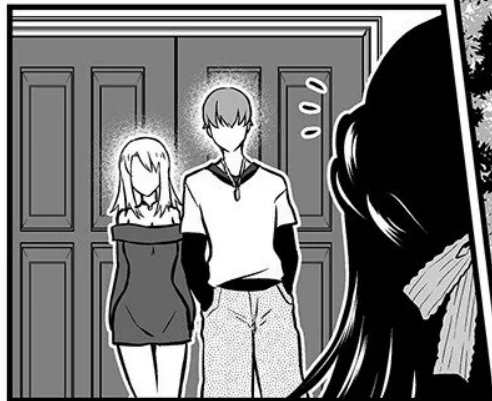


何考えてるの
私!?

私が
スワッピング
恋人交換したのは
誠二さんの為

そうでしょ!?













あなたの彼氏と
ハメていい?

はあ
はあ

どうぞ♡

俺の彼女の方が
締まりが良いな

わーっ

社長♡

ブッブ
ブッブ

良い企画
回してえ♡

ああ♡
イ♡

あっ

あ♡

あ♡

京子と
正斗じゃん

誠二さんのところ
行つたんじゃない
なかつたのー?

ぬいあいと
やれんのかよ
やべー

次
俺! 俺!

あ..
愛乃さん...っ

あんなに..
たくさん..
男の人に
囲まれて..



そんなところ
触っちゃ...!

やあん!?

知らない
人達に

うわもう
グチヨグチヨ

中こりこり♡

俺らのファンに
こんなレベルの
高い子いないよ

超レアじゃん

大切なところ
暴かれてる...っ

やめっ

そこ
擦っちゃ...っ

こんなの...!!

あああ♡

ホーン!!

ズレヤ

こんなのお...♡

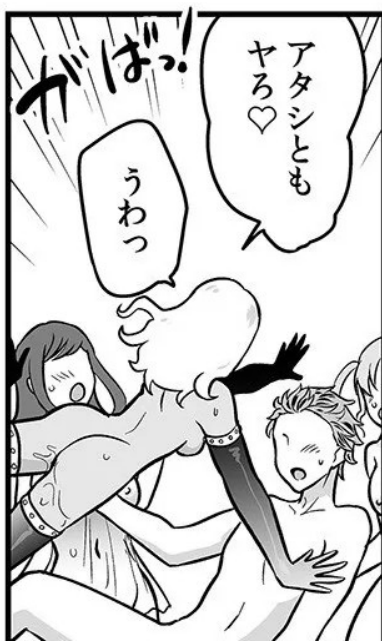
いくの
早いね

俺ら全員の
相手するの
大丈夫?

オレ
一番ノリ♡

あつ
だめっ...

今あちのちん
挿れられたっ...

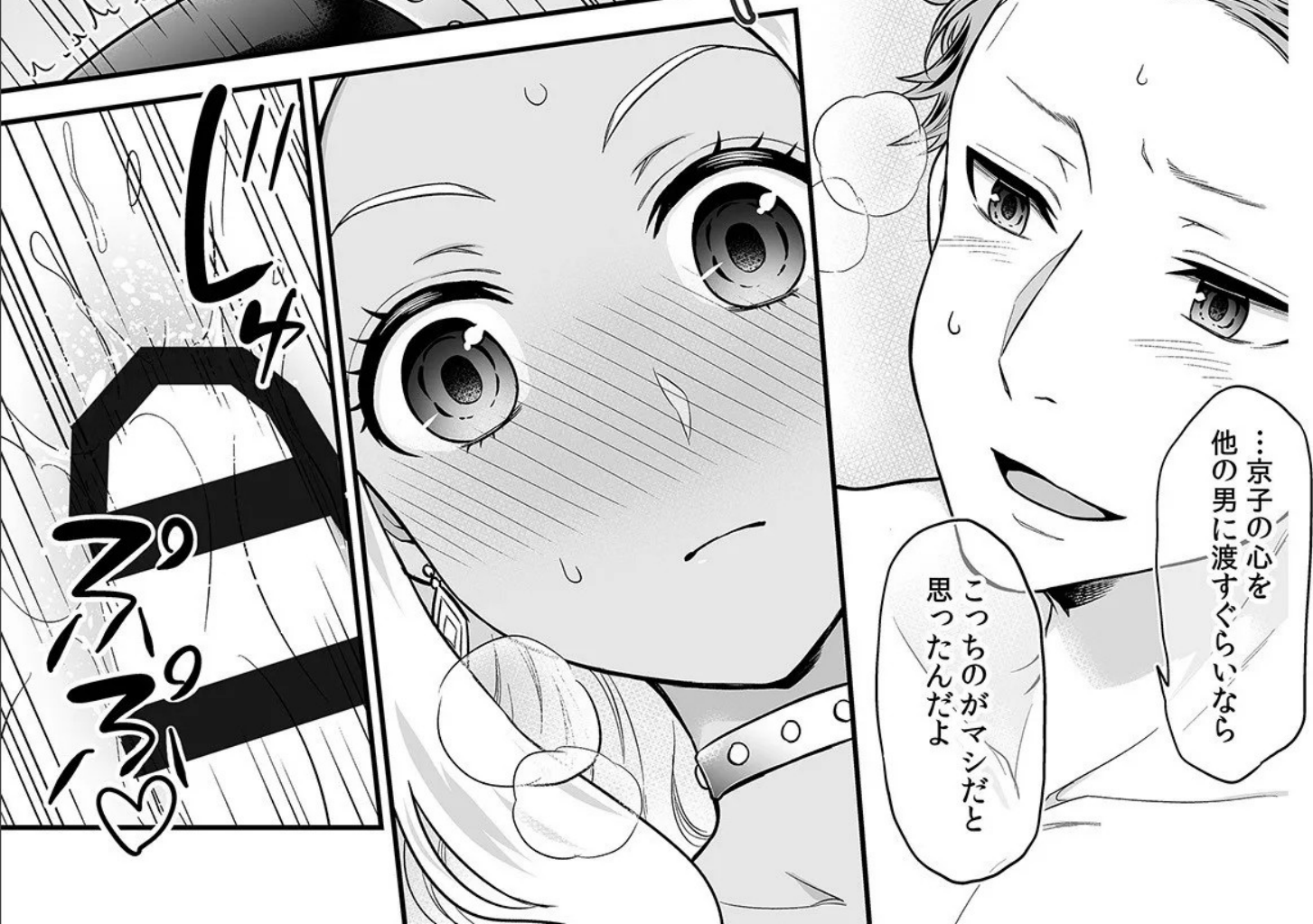




京子が他の人に
抱かれてもいいんだ？

結局
来たんだ♡

あんな
嫌がってたのにっ



…京子の心を
他の男に渡すぐらいなら

こっちのがマシだと
思ったんだよ

…正斗もナンギな
性格してるよねっ

あん♡

しょうがないから
アタシが
甘やかしてあげる♡

ア♡

どうだい
京子ちゃん？
楽しんでる？

見てーらん

皆君を見て
勃起してる

ひゃいっ…♡

見てる…

君が魅力的だから
君とセックスしたくて
たまらないんだよ

みんな私の
おま〇こ見てるう…♡

…♡♡♡





おち○ちん
だいしゅき♡

私の身体でたくさん
Hしてええ♡♡

私が欲しかった
ものなんだ...!!

これが...っ

ブル...

ブル...

ブル...





仕方ないわよ

きつともっと
楽しいものを
見つけちゃったんだわ



彼とのセックスじゃイケないから…
あたしのココに入れて欲しいの… 第二十一話

.....

著者名 □ジ□

©ROJIRO

.....

発行日 2021年7月1日

発行所 テッパン書房

.....

この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件等とは一切関係ありません。
本書の一部または全部を無断で複写、複製、転載、上演、放送などを行うことは、
著作権法の例外を除いて禁じられています。